

ボードゲームで体験するACP まずは私たちが専門職から

ACP (アドバンス・ケア・プランニング/人生会議) という言葉をご存知でしょうか。今回の研修会は、多くの参加者がこの言葉をすでにご存じの中で開催されました。

しかし、「知ってはいるものの、実際に利用者へどのように関わればよいのか分からない」と難しさを感じている専門職の方も多いのが現状です。

そこで、専門職の皆さんにACPを考えるきっかけとして、3月14日(土)、安来地域介護支援専門員協会と共同主催で「令和7年度医療介護合同勉強会・ボードゲームで体験するACP」を開催しました。

今回は、株式会社 omnineal 理学療法士の横田達之氏を講師にお迎えし、前半30分では、「ACPとは」と



すごろく型のボードゲームでACP

いった基礎的な内容について、丁寧にご講演いただきました。日常の何気ない出来事の中にこそ、ACPを考えるきっかけがあることを改めて実感しました。

後半60分では、職種を問わず4人ずつのグループに分かれ、「エンディングゲーム」というすごろく形式のゲームに取り組みました。このゲームは、架空のキャラクターになりきり、人生の終盤を模したマスを進んでいく内容で、グループ内では自然と

会話が広がり、対話が深まっていきました。

ACPは、特別な場面に限らず、日常の関わりの中で丁寧に積み重ねていくことが基本です。日々の支援の中で、利用者の「その人らしさ」を支えることの大切さを改めて実感しました。本人の大切にしていることを、みんなで繰り返し話し合い、共有し支援していくことが、私たちが支援者の役割であると改めて感じています。

最後に、ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



アドバンス・ケア・プランニング/人生会議とは？

参加者の声 (アンケート抜粋)

ゲームを通してACPについて考えることができた。

患者さん1人1人に人生があり、どんな最後を送りたいか、いろいろな思いがあることを改めて考えられました。

楽しくゲームで体験できました。病気、ADLの変化がでると人生の選択をせまられる場面がくると改めて認識できました。

分かりやすく、感情移入でき楽しく、考えるきっかけとなった。